



SSTL 虹のかけはし

— 私たちからあなたへ —

No. 66

発行人：埼玉県障害者団体定期刊行物協会
〒333-0851 川口市芝新町15-9
アステール藤野1階
編集人：社会福祉法人 川越にじの家
障害者支援施設 にじの家
理事長 野本和幸
〒350-0002 川越市古谷本郷992番地
TEL049-236-0666 FAX049-236-0665
http://k-nijinokai.com/
E-mail : nijji@k-nijinokai.com
郵便振替口座番号 00180-5-657610
◎購読料 1部100円

経営理念のモットー

理事長 野本和幸

平成28年は小池都知事の話題が連日のように報道され、都民ファースト、ガバナンスの欠如スピード感など法人経営にも通じます。7月に起きた津久井やまゆり園での戦後最悪の刃物による殺傷事件、普遍的価値を否定、言葉を失う衝撃的なできごとでした。

にじの会においては10年に渡つての懸案でありましたグループホームが着工、この会報が発行される頃には完成されていることと思います。準備に向けて組織も前倒して整備しました。今後、開設に向けての対応とともに、前年度策定された中長期計画への取り組みも迅速に進めていく必要があります。新たに設置した経営会議のなかでは経営理念、方針などについても協議しました。

川越市の委託相談事業については市及び法人との打ち合わせの機会が何回かありました。受託に向けて新たな課題となつていきます。快適な生活環境の保障との観点から内装工事をまた節電、環境対策としてLEDへの取り換え工事を実施しました。働く場としての環境整備に

もつながりました。

各種の会議、また夜勤見学の機会などに職員の皆さんから現場の課題などを聞かせて頂きました。経営の根幹は良質な利用者支援であることに変わりありません。現場主義の支援理念の実践を確信しました。

一方で地域との共生の立場から、ふれあい祭りなどにおいても色々工夫するなかで、活性化につながりました。

さらに社会福祉法の改正に伴い、定款を変更、評議員制度などが大きく変わつてまいります。そうしたことに的確に対応し、経営基盤の安定を目指してまいりました。

今年度も多くの皆様にご支援ご協力を頂きました。心より感謝致しますとともに新年度も何卒よろしくお願い申し上げます。



今年度を振り返って

施設長 高橋 潤

今年度は、私個人と致してま

しては施設のサービスマン管理責任者から施設長との立ち位置が変わり、とても緊張感を感じて過ぎる一年でありました。そのよ

うな中で利用者の方々の支援を考えていく上では、より良い人材の雇用や育成していくことが課題と感じます。昨今の福祉業界では、大変な人材不足が話題

になっておりますが、今年度は途中入社も併せて7名の職員が入職することができました。人材雇用においては、どの企業を

みても苦慮していることだとは思いますが、引き続き、魅力をもてる福祉施設となるように法人一丸となって進めていきたいと思ひます。

しかしながら、いくら人材を集められたとしても、その方達を育成する土壌がなければ、魅力も薄れ人材が離れていく要因となつてしまいます。法人・施設としては、人材を育てる環境をより整えられるように研修体系委員会を立ち上げて、新任職員・中堅職員・ベテラン職員や非常勤の職員それぞれが求められるスキルを身に付けられるような研修を検討しています。ど

のような研修が必要なのかは、その都度見直しをしていく必要があると思ひますが、皆が考えたい・知りたい・伝えたいという気持ちを持てる職員も育てていきたいと思ひます。

その職員の育成という意味の一つとして、利用者の方の直接支援を振り返ったり、虐待防止・権利擁護を検討する委員会(4名の支援副主任と私)を立ち上げました。

まずは、施設における利用者の方の支援を振り返るチェックシートを現場の職員の意見を出し合いながら作成したり、研修プログラムを検討しました。研修プログラムは県の虐待防止・

権利擁護研修Aコースの内容を凝縮した2時間バージョンで一月二十七日(金)に行いました。虐待防止・権利擁護研修は、毎年行つてきましたが、現場の職員が研修を組み立てて実施すること

で、より職員が現在の支援を振り返れるものとなり、支援課題や対応について議論できるよい機会になつたと思ひます。

また、企画する職員のモチベーションに繋がったのではないかと思ひます。まだ立ち上げたばかりですので、見直しをしつつ、より利用者の方々の支援を充実するものとなるように職員の皆様と作つていきたいと思ひます。

第24回・にじの家ふれあい祭り



今年度もにじの家最大のイベント「ふれあい祭り」が11月3日に開催されました。前日は雨が降っており、不安はありましたが、当日はまさかの快晴となり、皆様の願いが届いたのではないかと思います。

今年度の催し物は昨年度に引き続きどんどこ太鼓の皆様や川越東高校吹奏楽部の皆様のパフォーマンスに、新たにダンロップ南古谷チアダンススクールの華麗で元気な踊りも加わりました。また、子どもにスポットを当て、楽しんでもらえるようゲームコーナーを増やしたり、外部からうどんやクレープなどの販売を取り入れたり、初めての試みではありましたが、多くの方にご来場いただき、利用者の方々、また職員も楽しい時間を共有できました。

祭り全体では大きな問題もなく無事に開催することができたのも、ご家族の皆様やボランティアの皆様、地域の方々のご協力があったことだと思います。本当にありがとうございました。

実行委員 日隈 聡、増川 さゆり



ふれあい祭り収支決算書

単位：円

収入の部				支出の部			
御 祝 金	411,000	ジュース売り上げ	20,000	郵 便 料	22,960	厨房食材・小物	97,806
全本田労運埼玉地協	16,200	ゲームコーナー売り上げ	24,100	ちらし・材料費	164,096	音響レンタル	32,400
家族会有志焼そば売上	11,470	作 品 販 売	48,020	クレープ代	50,000	ゲーム景品	71,997
クレープ販売売り上げ	30,300	バザー売り上げ	55,030	ボランティア食事	17,360		
にじの家模擬店	50,600			ボランティア保険	1,020		
		収入合計	666,720			支出合計	457,639
						利益合計	209,081

クリスマス会

支援員 高田莉奈

昨年の十二月、狭山市にある「ニックス」という会場でクリスマス会を行いました。

私はクリスマス会担当だったので事前準備などスムーズに進められるかとても心配でしたが、利用者の方の楽しむ姿や喜ぶ顔を思い浮かべて準備をすると、「皆さんのために頑張ろう」という気持ちで取り組みました。

当日は天気にも恵まれ、会場に向かう車内では楽しみから利用者の方はどこかソワソワとした様子でした。クリスマス会では、豪華な食事やケーキ食べたり、サンタに扮した職員から利用者の方へプレゼントを渡しました。皆さんは穏やか時間を過ごしていました。

今回、初めてのクリスマス担当でしたが、利用者の方の多くが楽しめたようなので「成功したのかな」と感じています。また、楽しい企画を考へて一緒に取り組みたいと思います。



成人式

支援員 佐藤駿一郎

平成29年1月6日、少し時期は早いですが通所部利用者の方の成人式が行われました。先に職員と他の利用者の方々が食堂に集まり、暖かい雰囲気の中で成人式を迎えた方の登壇を待っていました。施設長から名前を呼ばれると、威風堂々とした表情で会場に入り、湧き上がる拍手の中を歩きました。そして一番前の席に座って、紅白模様の光景を眺めていました。いつも共に過ごしている利用者の方に記念品と花束を手渡され、成人式を迎えた方は嬉しそうに受け取り「はな」と職員に話されていました。式の最後には各棟利用者の方々や職員と一緒に写真撮影を行いました。ご本人にとつて一生に一度の舞台、新たな出発点となられたことだと感じます。



利用者交流会

佐々木裕美

1月25日(水)ウエスタ川越にて行われた利用者交流会に参加してきました。市内の障害者支援事業所の利用者の方や、職員等の関係者千名以上が集まる大きな会となりました。

一部構成で行われ、一部は「利用者の方々の主張」ほくのわたしのチカラウタ」というテーマで発表がありました。にじの家からも選ばれた方が「ガッチャマン」が大好き!と大勢の観客を前に元気な声で唄ったりして思いを発表していました。

一部はRie☆Rumiさんによるコンサートで、一度は聴いたことがあるような曲を中心に、ゴスペルの方々と一緒に迫力のある歌声を聴かせていただきました。利用者の方々も聴いたことのある曲だったためか、大きく体を揺らしたり手を叩いたりして、それぞれにコンサートを楽しんでいるようでした。あまり行ったことのない場所でも、始まるまでは不安や緊張からか表情が硬い方もいましたが、始まってしまえば心配もどこへやら。最後まで笑顔で過ごされていました。



棟の様子を覗いてみよう!

朝の掃除

支援員 井上翔平

今の時期は、インフルエンザやノロウイルス予防のため、毎日職員が消毒も兼ねて掃除を行っています。掃除を行う際、利用者の方にデイルームの椅子をテーブルに上げることやモップで居室の埃を取っていただいたりと負担にならない程度で掃除にお誘いをしています。B棟職員は利用者の方と協力しながら棟内を綺麗にしていこうと取り組んでいます。

利用者の方の中には、職員がデイルームのモップ掛けをしている途中でも、椅子を早く並べ直したい、という方がいます。テーブルから椅子を降ろすタイミングが早いと、それに追いつかれまいと職員も急いでモップ掛けを行うことがあります。そんなやり取りが時々あり、日々利用者の方と楽しみながら掃除をしています。

園庭運動

支援員 青木有香

風が冷たい季節ですが、C棟では寒さを吹き飛ばすように園庭運動に励みました。ある余暇の時間には、職員と一緒にキャッチボールをしました。

始めは皆さんの手元にボールが来ると、思い思いの場所へ蹴ったり投げたりしていましたが、職員が「こっちにバスクださい」と声掛けすると利用者の方同士で見事なパスワークを見せていました。

また、バレーボールのようにレシーブでボールを渡したり、数をかぞえながらキャッチボールをしたりと趣向を変えながら取り組んでいるうちに体がポカポカしていました。運動の後は待ちにまつたおやつタイムです。体を動かした後甘い物はより一層美味しく感じられました。



今号までにお世話になった 方々を紹介します

紙面の都合上、敬称は略させていただきます。

《ふれあい祭り》

伊勢国望・並木敬三・木村正義・田中利夫・御園勝造・栗原正和・堤薫・武藤建一・武藤志寿子・奥山由美子・松沢照子・岸野秀實・岡野幾子・鈴木邦夫・鈴木登志枝・工藤江里子・廣瀬明子・廣瀬豊・林忠也・大嶽敏郎・宮田力ツヅ・比佐貴・首藤晏・末永信明・中村佑・谷口正・増賀暁・松田都・谷平秀子・剣持節子・高橋永子・竹谷裕子・寺師達子・伊藤富士子・高橋恵子・川原健太・柴田雅哉・浮島信之介・小橋和幸・山本有沙子・蝦名佐和子・柿下祐輔・千葉新ノ介・千葉沙織・林篠匡志・林篠慶美・若野真則・荒木佑衣・仲田裕哉・佐藤花奈・天沼真子・関根唯・稲田純一・吉野莉芽子・武田健大・小倉里永・高木しずく・田嶋良樹・森次郎・中村日向子・桑島紀子・高橋由紀

《散髪》

関口留美子・鶴見修・鶴見真哉・横山晃

《棟・作業》

谷平秀子



《ご協力頂いた企業》

ソーラ電機・立原電機(株)・(株)服部金属・泉名本店・金子商店・岡田屋・春陽苑・(有)コシダ・出口商店・角田屋酒店・江島工業・虎屋商事(株)・(株)富士薬品・三陽工業・川越市リサイクルセンター・川越東高等学校・えすぼわーる伊佐沼・(株)平井スチール・日本サッシガラス(株)・川松電機・(有)加藤工業・常盤工業(株)・(株)仲栄製作所・ぼぶらの樹・グリーンロジテック(株)・鈴木商店・(株)日武設備・埼玉精機(株)・川越工場・菅間工業(株)・川越アトシ福祉の店・南古谷大樹作業所・高階市民センター・内福祉喫茶 茶房ひととき・川越市役所

くじの家の生活や行事におきましては、大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。

★皆様からの

☆☆ご支援に感謝して☆☆

平成二十八年八月一から二十八年十二月末日までに「川越にじの家後援会」にご寄付いただいた方々のお名前を掲載致します。なお、紙面の都合上、敬称は略させていただきます。

《後援会加入者》

矢作宏子・神代あいつ子・井上徹・嶋田剛・桜井栄子・神原 達・谷田和弘・谷田昭子・森れい子・布施永夫・布施晃子・布施永太・百瀬登志・黒沼史朗・越澤武紀

内海勝・横田尚美・駒井忠幸・伊勢国望・高橋聖子・中野登美三・中野初哉・大高定子・北澤恭子・小林武・逆井克己・桑田和美・氷見雪江・出口恵美・高橋勝行・古家明子・山田久代・須賀保雄・一ノ瀬辰一郎

後援会員募集

「にじの家」の活動をご支援くださる会員にご加入ください。

【会費】年額 1000円

個人 2,000円

法人 10,000円

【郵便振替口座】

番号 00180-5057610

名称 川越にじの家後援会

【後援会総会のお知らせ】

日頃より、川越にじの家後援会にご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。平成二十八年年度の後援会総会のご案内をさせていただきます。

●平成二十八年年度総会●

【日時】

平成二十九年四月十七日(月)

十一時三十分 開始

【会場】

にじの家 作業棟

ご多忙とは存じますが、ご出席頂きたくご案内申し上げます。

《一般寄付者》

ランチ力フェくるみの木・全本田芳連・(福)川越にじの家後援会・丸田寿夫・嶋田剛・(医)愛和会 愛和病院

結婚しました

*加藤 康広

平成二十九年二月一日

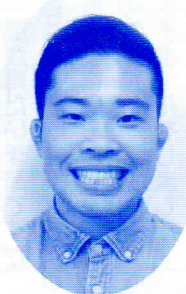


新しく職員が加まりました

D棟支援員 青木 光

〈趣味〉音楽鑑賞、CD、DVD収集
〈尊敬〉自分に福祉の世界を教えてくれた祖母
〈座右の銘〉我思う、故に我あり

平成二十八年十一月に入職した、青木光と申します。これから自分が出れることを精一杯行い、笑顔がたくさん生まれるような仕事をしていきたいと思っております！



【広報担当】

日隈 聡・増川 さゆり
須永 幹子・梶木 美咲
青木 有香・森谷 ゆう香